



師 吉田正氏を偲ぶ 歌手の橋幸夫さんが日立市を訪問

6月14日、歌手の橋 幸夫さんが、恩師である作曲家・吉田正氏の墓参りのため日立市を訪れました。「墓参りに来ると、亡き先生への思いが浮かんできます」と亡き恩師を偲んだ橋さん。9月25日には、日立市民会館で行われる「吉田正生誕100周年記念コンサート」（詳しくは6ページをご覧ください）にも出演されます。



神インター渚さん BS番組で市内の観光スポットなどを紹介

6月17日、お笑いコンビ・尼神インターの渚さんが、「BS よしもと」で7月31日から始まる新番組「渚の日立なかよし倶楽部」の撮影のため、市役所やかみね公園などを訪れました。小川市長から「ひたち観光大使」を委嘱された渚さんは「見ている人が気分転換になるような時間にしたい」と抱負を語りました。番組は、毎月最終日曜日の午後4時30分からBS よしもと（265チャンネル）で放送されます。



上で舞う演技者たち 十王ダムでスラックラインイベントを開催

6月18日・19日に、スポーツ綱渡り「スラックライン」のイベント「スラックラインリサーチフェスティバル22」が、十王ダムで開催されました。イベントの目玉である全国初のフリースタイル大会では、全国の子選を通過した4人が、ダム湖の上空に張り渡された幅2.5cmのライン上でパフォーマンスを披露し、観客を沸かせていました。



立市発祥のスポーツ「パンポン」 生誕100周年を記念して動画を作成

木の板で軟式テニスのボールを打ち合うスポーツ「パンポン」が、大正10年頃に日立製作所日立工場が始まってから100年を経過したことを受け、日立市パンポン普及推進協議会が記念動画を作成しました。どこでも、だれでも、手軽にできるパンポンの魅力が詰まったこの動画は、YouTube（右記QR）で見ることができます。



山 火事を二度と繰り返さないために 助川山で防火啓発活動を実施

6月20日、日立市女性防火クラブ連絡協議会のメンバーが、平成3年の大規模な火災で大きな被害を受けた助川山で、再発防止のため、防火啓発活動を行いました。協議会は、平成12年、助川山市民の森に火災に強いとされるモチノキを植樹し、毎年、育成状況の確認や手入れ、火災予防の呼びかけなどを行っています。今年は29人が活動に参加し、モチノキのせん定や周辺の草刈りを行いました。



動 物園にパンダを ぱんだーくんたちが市役所を訪問

6月23日、双子のパンダの妖精・ぱんだーくん、ぱんだーちゃん、納豆の妖精・ねぼ〜る君が、ぱんだーくん実行委員会のメンバーと市役所を訪問し、これまでの活動について報告を行いました。会は、県内の保育園などを訪問し、子どもたちと一緒にオリジナルのダンスを踊るなど、パンダ誘致を応援する活動を行っています。訪問を受けた小川市長は「市内にもたくさん顔を出していただいて、子どもたちを喜ばせてください。一緒にパンダ誘致の気運を高めていきましょう」とエールを送りました。

自 分たちにもできる支援を 明秀日立生徒がウクライナ義援金を寄附

6月7日、明秀学園日立高等学校文化委員会の生徒たちが、ロシア軍の侵攻が続くウクライナを支援しようと学校内で義援金を募り、集まった義援金およそ19万円を市に寄附しました。小川市長は、「皆さんが率先して支援の手を差し伸べたことは大変素晴らしいです」と生徒の活動をねぎらいました。受け取った義援金は、日本赤十字社を通じてウクライナの人々への救援活動の支援に役立てられます。



困 っている人を助けたい 日立北高生が部活帰りに83歳を保護

日立北高等学校の茅原知良さん（3年）と荒川亮佑さん（2年）が、道に迷った高齢男性を保護したとして、5月27日に日立警察署から感謝状を受け取りました。2人は4月23日、部活帰りに声をかけてきた男性が「帰り道が分からない」と話していたため、教えられた自宅住所に向かって案内しました。途中で男性が倒れたため、歩かせるのは危険と判断し、同署に通報して警察の到着まで付き添いました。将来の夢は警察官という茅原さんは「人を助けることが、改めて良いことだと感じられた」と話しました。